

令和3年12月1日

お取引先様各位

一般社団法人全国建設室内工事業協会 関東支部
会長 伊東 銀平



原材料費高騰等による材料値上げについて

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、世界的に新型コロナウイルス感染対策の緩和を受けた生産活動の急回復による急激な原油価格の高騰などの影響もあり、需給環境は日を迫うごとに悪化しております。

そのような中、各建材メーカーの原材料の調達は困難を極めており、輸送、配送能力の不足とコストアップも相まって、世界的な原材料の急騰による過去に類を見ない大幅な値上げの局面を迎えております。

つきましては、内装工事業界の主要建材値上げ状況を別紙にてご報告申し上げます。

製品の安定供給が危ぶまれる程、事態が深刻であり、各メーカーにおいても仕入先に対し交渉努力を重ね、コストの見直しを図った上、企業努力だけでは賄えない現状である事をお伝え申し上げ、何卒ご理解・ご配慮を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

また、今回の値上げは世界的なインフレによる物価上昇によるスライド値上げになりますので、下請法や独占禁止法にも定められたコンプライアンスに基づく交渉となる事をご了承下さいますよう重ねてお願い申し上げます。

敬 具

主要内装建材商品の価格改定

2021年12月1日

商品名	2021年値上げ率	値上げの原因	今後の見通し
①軽鉄下地	3/1以降30%UP 10/1以降30～40%	原材料である鋼材が中国を中心とした海外市況の上昇	2022年1月から再値上げ予定のメーカーもあり
②石膏ボード	11/1以降30%UP	原材料となる石膏や石膏ボード原紙、原材料輸送費の高騰など	現状再値上げの予定はなく、今後の市況次第
③塩ビ系床材(タイルカーペット含む)	7/1以降10～18%UP	ナフサ価格の高騰、主原料である塩化ビニル樹脂など石油化学製品の高騰	現状再値上げの予定はなく、今後の市況次第
④壁装材(クロス)	9/21以降13～20%UP	ナフサ価格の高騰、主原料である塩化ビニル樹脂など石油化学製品の高騰	2022年3月以降一部メーカーで値上げ(20%)の可能性
⑤接着剤	9/1以降10～15%UP	原油・ナフサの上昇に加え、世界的な需給バランスの乱れにより原料価格の上昇	現状再値上げの予定はなく、今後の市況次第
⑥グラスウール	22年2月以降20%UP	主要原料であるカレット価格の上昇及び海上運賃、国内輸送費の上昇	現状再値上げの予定はなく、今後の市況次第
⑦アルミスパンドレル	10/1以降15%～30%UP	主要原料であるアルミニウムが世界的な需要逼迫及び運送費の上昇	2022年早々にも再度値上げ予定
⑧アルミ点検口	11/1以降10%～25%UP	主要原料であるアルミニウムが世界的な需要逼迫及び運送費の上昇	現状再値上げの予定はなく、今後の市況次第
⑨ケイ酸カルシウム板	12/1以降20%UP	セメントやパルプ繊維等の原材料・原燃料及び物流コストの上昇	現状再値上げの予定はなく、今後の市況次第
⑩押出発泡ポリスチレンフォーム	5/21以降20%UP	原油及びナフサ価格の高騰し、製品原料樹脂価格の高騰及び物流コストの上昇	2022年1月～10%の値上げ予定
⑪ウレタンボード	11/1以降15%UP	ウレタンの主原料ならびにその他薬品、更に各種面材の値上げ	現状再値上げの予定はなく、今後の市況次第
⑫パーティクルボード	11/1以降8～10%UP	主原料である接着剤の高騰及び物流コストの上昇、生産ライン減少	現状再値上げの予定はなく、今後の市況次第
⑬鉛関連商品	12/1以降30%UP	世界的な鉛需給の逼迫による市況の上昇及び物流コストの上昇	現状再値上げの予定はなく、今後の市況次第
⑭岩綿吸音板	現在のところ要請なし	2022年春頃までに値上げの予定。原材料高騰が原因	2022年春頃までに値上げの予定
⑮不燃メラミン化粧板・不燃化粧板	2022年3月以降10～20%UP(一部のメーカーでは2022年1月以降7～8%UP)	石化原料等の価格高騰及び物流費、人件費、副資材、エネルギーコストの上昇	現状再値上げの予定はなく、今後の市況次第
⑯ロックウール	現在のところ要請なし	原材料及び物流費の高騰	今後の市況次第で可能性あり
⑰塩ビ見切り	現在のところ要請なし	主原料である塩化ビニル樹脂など石油化学製品の高騰	2022年4月～10%以上の値上げ予定